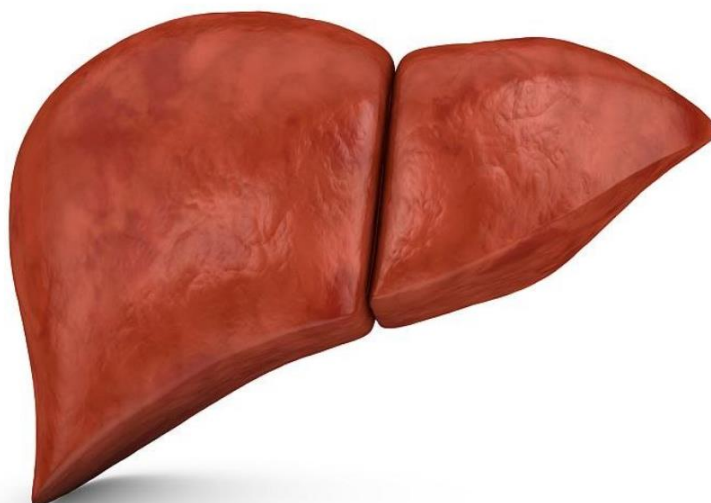
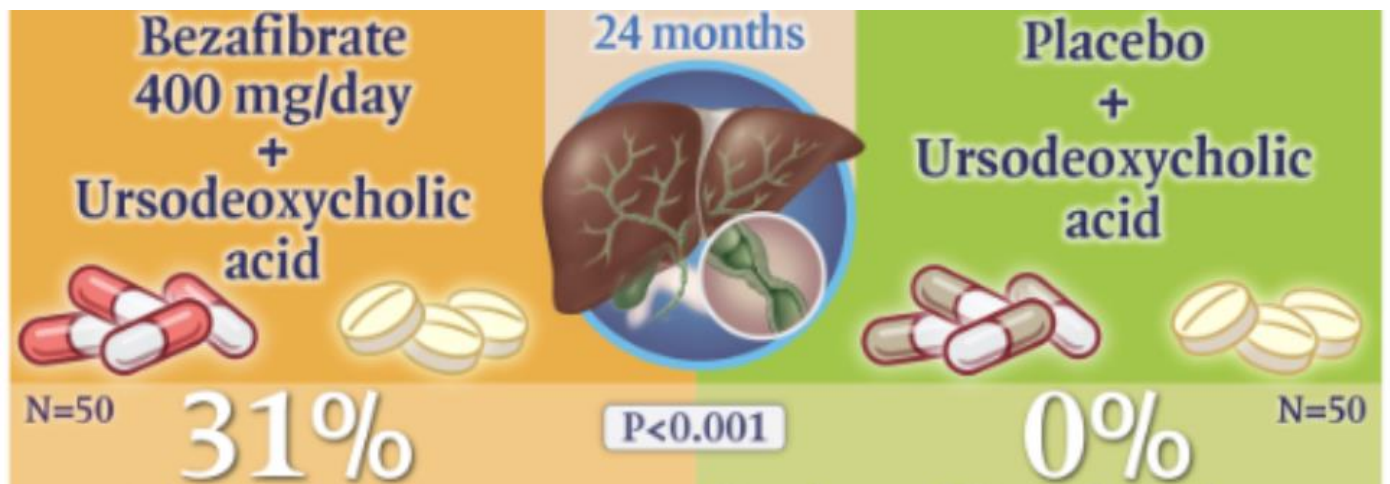


原発性胆汁性胆管炎にウルソ& ベザフィブラート

ウルソデオキシコール酸（UDCA）による治療効果が十分に得られない原発性胆汁性胆管炎患者（PBC）100例を対象に、ベザフィブラートの併用効果を第Ⅲ相試験で検討した（BEZURSO試験）結果が New England Journal of Medicine 誌に掲載されました。



24 カ月時の生化的完全奏効率（総ビリルビン値，アルカリホスファターゼ値，アミノトランスフェラーゼ値，アルブミン値，プロトロンビン指数が正常）は、プラセボ群 0%、ベザフィブラート併用群 31%でありました（ $P < 0.001$ ）。



ALP 正常値達成率はプラセボ群 2%、ベザフィブラート併用群 67%で、掻痒、疲労、肝線維症の改善度もベザフィブラート併用群の方が大きい結果となりました。



クレアチニン値は、ベザフィブラート群ではベースラインから 5%上昇し、プラセボ群では 3%低下しました。プラセボ群の 10%、ベザフィブラート併用群の 20%に筋肉痛を認めました。